

平成 23 年度 第 1 回 大垣市民病院地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	平成 23 年 6 月 29 日 (水) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで
開催場所	2 病棟 1 階会議室
議題	(1) 委員長並び副委員長の選出について (2) 開放型病床の利用状況 (3) 紹介率及び研修会等について (4) 開放型病床の増床について (5) その他
出席委員	委員長 山川 隆司 (大垣市医師会長) 副委員長 杉山 勝治 (大垣歯科医師会長) 委員 鈴木 一朗 (弁護士) 委員 和田 育穂 (大垣市医師会) 委員 近藤 潤一郎 (大垣市医師会) 委員 船戸 崇史 (養老郡医師会) 委員 片野 雅文 (大垣歯科医師会) 委員 村瀬 利明 (薬剤師会大垣支部長) 委員 伊藤 恒子 (日本中央看護専門学校長) 委員 竹中 昌子 (大垣市連合婦人会長)
会議の公開	公開
審議概要	(1) 委員長並び副委員長の選出について 次の選とおり選出した。 委員長：大垣市医師会長 山川 隆司 氏 副委員長：大垣歯科医師会長 杉山 勝治 氏 (2) 開放型病床の利用状況 <登録医>平成 23 年 5 月末：合計 69 人 (医師会：63 人、歯科医師会：6 人) <利用状況>平成 22 年度：利用人数計 33 人、利用率月平均 14.1%、平成 23 年 4・5 月：利用人数計 19 人、利用率月平均 36.75% (質問) 利用率 35% 程度は少ないのでは。 →少ない。限られた先生の利用にとどまっている。 <診療科別利用詳細> 平成 22 年 7 月から平成 23 年 5 月までの計 37 件分の診療科、入院月、病室、入床期間が示された。 (質問) 病名を示してほしい。また開放型病床から一般病床へ転床もあるため、入床期間を含めた入院期間を示してほしい →次回、入院期間と病名の資料を準備する。 (3) 紹介率及び研修会等について <紹介率>平成 22 年度：44.2% (月平均)、平成 23 年 4・5 月：43.8% (月平均) <逆紹介率>平成 22 年度：83.0% (月平均)、平成 23 年 4・5 月平均 78.3% (月平均) <職員研修会等>平成 22 年度：開催数 34 回、院外受講数 414 人、院内受講数 1892 人 平成 23 年 4・5 月：開催数 5 回、院外受講数 51 人、院内受講数 257 人 <市民公開講座>平成 22 年度：開催数 22 回、院外受講数 860 人、院内受講数 31 人 平成 23 年 4・5 月：開催数 2 回、院外受講数 93 人、院内受講数 13 人 (質問 1) PR の方法は。早めに広く案内できないか。 →院外広報誌「四季の風」への掲載、関係機関へのポスター・リーフレットの配布、ホームページへの掲載。開催直前になって

	<p>内容が決まるものはホームページへ詳細を掲載している。</p> <p>(質問2) 内容の決定方法は。</p> <p>→市民へのアンケート調査を実施している。がん講座は院内のがん診療委員会で決めている。できるだけ、最新のトッピックスを題目に入れている。糖尿病と気管支喘息は定期開催している。</p> <p>(4) 開放型病床の増床について</p> <p><開放型病床の設置></p> <p>①平成22年6月試行、7月本格運用開始、②外科系3床、内科系2床の合計5床で運用開始、③今後、合計10床を検討している。小児科系も設置する。</p> <p><開放型病床の申し込み></p> <p>申込期日は入床の1日以上前としている</p> <p>(質問) 1日も待てない場合は。</p> <p>→時間外・土日は救急での紹介状により、入院対応はできる。</p> <p>(5) その他</p> <p><開業医とよろず相談センター職員との連携強化></p> <p>(質問) 地域の医療関係者の集いで病診交流するのもよいのでは。また「よろず便り」の配布はどうか。</p> <p>→出席する。「よろず便り」は年に数回発行を検討したい。</p> <p><開業医の業務の把握></p> <p>(質問) 開業医の業務が分かるよう、パンフレットがあれば良いが。</p> <p>→(医師会から) 在宅医療マップを7月に作成した。これは全医療機関に在宅で何ができるか、介護サービス一覧、看取りができる施設、24時間体制、訪問看護ステーションなど冊子化したもの。ホームページへも掲載していく。</p>
次回開催	平成23年度第2回は9月の開催とする